

留学紹介

皆さんの中には大学で海外留学を経験しグローバル社会に適応するスキルを身につけたいと思っている人も多いのではないのでしょうか。本学のBECC(Bunkyo English Communication Center)には英語の自律学修施設SALC(Self-Access Learning Center)があり、ラーニングアドバイザーに相談しながら自分に合った学修方法で英語力をレベルアップすることが可能です。また、英語学修に役立つ幅広いジャンルの書籍や海外留学に関するガイドブックなどが揃っていますので、何となく海外に興味があるという人も、まずはSALCに足を運んで「学内留学」を体験してみたいかがでしょうか。

本学では研修期間や内容の異なる海外留学研修プログラムを多数提供していますので、皆さんの将来の目標や留学資金に合わせて選ぶことができます。また、各プログラムで観光や異文化体験などのアクティビティも準備されています。すべての研修プログラムにおいて渡航前研修と海外渡航安全セミナーを開催し、海外旅行が初めての人も安心して参加していただけるように支援しています。自分にとってベストと思うプログラムを選んで、ぜひ一生モノの海外留学を経験してください。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは3年目に突入しました。社会の急速なグローバル化や国際ビジネスのボーダーレス化が進む中で、私たちは国や人種の隔てなく予測不可能な困難を経験しています。このような不確実な時代にあって社会で求められているのは、どんな環境にも適応できるタフさと柔軟性をもつ人材、好奇心をもってさまざまな問題にチャレンジする人材、そして苦難を乗り越えるレジリエンス(精神的回復力)の高い人材といわれます。海外で異文化に触れる経験は、必ず新しい気づきやチャンスをもたらします。皆さんの将来の可能性を広げ、不確実な時代を生き抜く力を身につけるための一つの手段として、一人でも多くの文教生に海外留学を経験していただきたいと願っています。



国際交流委員会 藤井 律子

■本学の留学研修プログラムの紹介

アメリカ・オハイオ州 長期留学(16週間)・英語研修	
留学先	研修期間／研修内容
ケント州立大学	毎年8月下旬～12月初旬の16週間／秋期ESLコース(本学の後期中)・大学寮で生活します。
オーストラリア・ブリスベン 一般英語研修(5週間)	
留学先	研修期間／研修内容
クィーンズランド工科大学(QUT)	毎年2月初旬～3月中旬の5週間／一般英語研修(本学の学年末休業中) 毎年8月中旬～9月下旬の5週間／一般英語研修(本学の夏期休業中)
ベトナム・ハノイ 短期海外就業体験	
留学先	研修期間／研修内容
企業(日系ホテル、IT関連会社等)・現地日本語学校	毎年9月初旬(予定)～9月下旬の約2週間/企業での短期インターンシップまたは日本語授業アシスタント
オーストラリア・メルボルン 海外インターンシップ	
留学先	研修期間／研修内容
企業(旅行者、ホテル、ショップなど)・現地小学校・中学校	毎年8月中旬(予定)～9月中旬の3週間以上/企業インターンシップ研修(英語)または日本語授業アシスタント(日本語、英語)とホームステイ体験(最少催行人数6名)
短期国内英語研修 (3日間～最大2週間)	
留学先	研修期間／研修内容
プリティッシュヒルズ 異文化体験と英語研修(福島県岩瀬郡)	『パスポートの要らない英国』英語研修施設プリティッシュヒルズで 英国文化・マナーや英会話を集中的に学びます。
フィリピン・セブ 短期・中期留学(4週間・18週間)	
留学先	研修期間／研修内容
ラブラフセブ国際大学 (広島文教大学姉妹校)	短期留学/毎年1月～2月、2月～3月、7月～8月の4週間/大学寮で生活します。 中期留学/毎年3月～7月、8月～12月の18週間/大学寮で生活します。



- 本学には皆さんの留学を支援するための奨学金制度もあります。その他、文部科学省や日本学生支援機構の海外留学支援制度などにも申請できます。詳細は海外留学説明会などでご案内しますので、留学支援制度にも積極的にチャレンジしてください。
- 本学の留学研修プログラムで修得した単位は、教養教育科目の一部との読み替えにより卒業要件単位(ただし上限あり)に認定されますので、文教の学びにしっかりと生かされます。

就職サポート紹介

就職課では、学生のみなさんが自分の将来を考えて、有意義な学生生活を過ごせるよう、1年次から参加できるイベントや講座などを実施しています。大学が発信する多くの情報の中から、自分に合ったものを選び、主体的に学び行動することが、充実した学生生活につながり、将来にもつながります。授業以外の活動(学友会・サークル・イベント・ボランティア)にも積極的にかかわることで、社会に求められる力を身につけてください。コロナ禍で就職についての心配も多いと思いますが、みなさんがさまざまなことにチャレンジしていけるよう、オンラインでの講座や面談も実施するなど、一人ひとりに寄り添った支援をしています。ぜひ気軽に就職課にお立ち寄りください。今後のご自身のキャリア(生き方)について一緒に考えていきましょう。

「就職課のサポート」

就職個別相談

進路相談、応募書類(エントリーシート・履歴書)の添削、面接練習、インターンシップ等進路に関するあらゆる個別相談を受けています。希望する場合は、日時予約が必要です。就職課にご連絡ください。

インターンシップ

インターンシップ募集情報を案内します。また、応募のためのエントリーシート添削や参加のための準備指導も行っています。

就職イベント情報など

就職ガイダンスや対策講座のほか、就職情報会社や地域団体主催のイベントやセミナーの情報を提供しています。就職応援コンテンツ(オンライン)でいつでもどこでも情報を確認することができます。※2号館1階のキャリアセンター掲示版でも案内しています。

公務員対策・筆記試験対策講座

・公務員対策講座(有料講座)

公務員上級教養科目講座と上級専門科目講座を実施しており、低価格で受講することができます。公務員説明会(広島県行政一般、消防士、警察官、刑務官等)や講座の説明会も実施していますので、まずは参加してみてください。公務員には、行政に関する専門知識のみならず、一般教養やコミュニケーション能力が求められます。また、さまざまな公務員の仕事に対する理解と、それに応じた試験対策も必要です。早い時期から根気よく勉強することが合格への近道です。

・筆記対策講座(有料講座)

筆記試験は多くの企業で第一次試験として実施されます。就職課ではSPI3の勉強を通して、筆記試験の対策を行っています。力をつけるためには、地道な準備が必要です。1年生のうちから、ぜひ積極的に参加してください。

キャリアセンター就職課イベント

・BUNKYO卒業生就職座談会

各業界から卒業生を招き、先輩からたくさんの生の情報を聞くことができる機会です。近年はWEBで行っていますが、参加学生からは「大変参考になり、大学生活ですべきことが明確になった」と好評です。

・業界研究セミナー

各業界の人事担当者の話を直接聞くことで、「働く」をイメージするきっかけになります。知らなかった企業や働き方に出会うことができます。

・実践的業界研究会(企業編)(医療福祉系)

就職活動開始直前の3年生を対象に、本学の学生を求める事業所に参加いただき実施します。本番同様の就活スタイルで参加し、採用に関する情報を得る貴重な機会となります。

キャリア教育

教養科目キャリア教育科目群の選択科目「キャリア形成概論I・II」「インターンシップ」と合わせて受講することで、自分らしい生き方について深く考えることができます。就職課は授業内で実践に役立つ情報を伝えています。



課外活動ピックアップ

せっかくの大学生活、色々なことにチャレンジし、思いっきり楽しみたい!という方が多いと思います。ここでは、課外活動の一部を紹介します。「学生時代に力を入れたこと」略して「ガクチカ」。この言葉、みなさんも聞いたことがあると思います。「ガクチカ」は、就職活動の際に企業への志望動機や自己PRとともによく尋ねられる内容であり、学生時代に力を入れたことや頑張ったことのエピソードを通じて、自分自身を紹介するものです。課外活動は、仲間作りや楽しみ、人生の経験値アップはもちろん、「ガクチカ」として熱く語るができるいい経験にもなるはずです。興味があれば是非チャレンジしてみてください。



＜留学＞

オーストラリア・ブリスベンにあるクィーンズランド工科大学(QUT)での語学留学(5週間)

初等教育学科2022年3月卒
秋友麻緒さん



＝＜インターンシップ＞＝

授業「インターンシップ」履修→短期インターンシップ→長期インターンシップ(3ヶ月間)

グローバルコミュニケーション学科3年
掛谷理湖さん



＝＜部活動・学友会＞＝

和太鼓部「文教太鼓 仁」
学友会本部財務局

人間福祉学科4年
西元恒生さん



＝＜ボランティア＞＝

合鴨米を使用した
米粉パンレシピの考案

人間栄養学科3年
小草舞佳さん



＝＜ボランティア＞＝

地域連携室(ぶらボラ)→「可部山まゆ同好会」
大学生サポーター

心理学科4年
本村裕太郎さん

印象に残っていること

QUTでの授業はスピーキング重視であり、受講者のレベルに合わせた教科書を用いて、毎回変わる話題についてグループで自由に話をしました。さまざまな国の人と自国のおすすめスポットや生活習慣、宗教など、多文化について話すことをおとし、知識を深めて価値観を広げることができました。留学中はホームステイで、ホストファミリーと共に過ごし、学校での出来事や日本の食文化について話したり、休日はスーパーやオーストラリアの観光スポットへ行ったりして過ごしました。

活動とおして気づいたこと・みなさんへのメッセージ

授業でスピーキング力が求められていた理由は、コミュニケーション能力を育てるためであったと思います。日本人には謙虚さがあり、自分の考えていることを無意識に察してもらいたいと思っていることが多いようです。英語がうまく話せなくても、何かを「伝えよう」とする強い意思があると、間違った英語でも相手に伝わったことがあります。自分の思っていること、感じていることや意見を、積極的に言葉や表情にして示さないで伝わらないと実感しました。

少しでも「外国に行きたい!」「留学に興味がある!」というみなさんは、ぜひ一歩踏み出してみてください。世界が広がります。勇気を持って新しいことへ挑戦してみましょう!!

印象に残っていること

IT企業での長期インターンシップでは、イベントの企画や準備、司会などの仕事を経験させていただきました。オンライン参加型のイベントでした。司会進行しながら、会話に加わっていない方や理解が難しそうなる画面越しで見つけ、タイミングを見て話を振ったり、話題を変えたりしました。色々なことを同時に行うことは大変でしたが、参加者が楽しそうにされている姿や、次のイベントにまた来てくださる姿を目にするととても嬉しく、頑張ってたかったなと思いました。

活動とおして気づいたこと・みなさんへのメッセージ

企業の社員の方や他大学のインターン生など、普段関わることができないたくさんの方とお話することができ、とても刺激を受けました。もちろん、仕事を体験しながら、働くことの大切さややりがい、それに伴ってついてくるしんどさ、常識、コミュニケーション能力なども学ぶことができましたが、それ以上にさまざまな価値観に触れ、自分を見つめ直す期間になりました。自分が本当にやりたいこと、夢を見つけることができました。

何かを始めたい人、チャレンジしてみたい人、自分を变えたい人は、ぜひ“心躍る方へ”一歩踏み出してみてください。私は、新たな環境に足を踏み入れたことで、自分の可能性をより強く感じることができました。大学生はたったの4年間、今しかありません。私はこれからも見つけた夢に向かって進み続けます。一緒に頑張りましょう!

印象に残っていること

和太鼓部で「けんみん文化祭ひろしま'21和太鼓フェスティバル」に出演し、最優秀賞を獲得するという夢がかなったことです。一昨年の大会では優秀賞、去年の大会は中止と、とても悔しい思いをしてきたので、この結果を出すことができてとても嬉しかったです。さらに、2022年10月には国民文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022」に広島県代表として出場させていただくことになりました。10月の大会には1～4年生全員で出場します。

活動とおして気づいたこと・みなさんへのメッセージ

和太鼓をとおして「感謝」することの大切さを学びました。私は入部当初、感謝の意味を履き違えていたのだと思います。その結果、たくさん叱られ、たくさん信頼をなくしました。そんな時に支えてくれたのが同学年の部員でした。そして、信頼を失うの一瞬、取り戻すのは一生、という言葉の意味もその時初めて理解しました。今の自分があるのはいったい誰のおかげなのかを改めて考え、礼儀や相手を思いやる心を知ることができました。

「高校生活で部活がなかったけど踏み出さなくて後悔している」「大学生活を有意義なものにしたい」「人前に立つことが苦手」「人脈を広げたい」「アルバイトと部活を両立したい」…実はこのすべてが入学当初の自分に当てはまります。ですが、和太鼓部と学友会本部に入学し、すべて克服しました。同じ境遇の1年生は、和太鼓部に限らず何か部活やサークルに入って、ぜひ世界を広げてもらいたいです。

印象に残っていること

合鴨農法で育てた米を使用して環境にも人にも優しい料理を作ろう!と、ひろしま合鴨水稲会での活動に人間栄養学科2年生12名が参加しています。私は、食物アレルギーの方でも病気のことを気にせずに楽しめる料理を作りたいという思いから参加し、レシピを考える上でも「食物アレルギーを持つ方も一緒に食べられること」に重点をおいています。試作・試食をとおして改善点が見つかり、検討し改良を重ねることでより良いものが作れたときに嬉しく感じます。

活動とおして気づいたこと・みなさんへのメッセージ

合鴨米を米粉にして使用したパンのレシピを考案し、合鴨農法を広く知ってもらおうということで、米粉ピザを試作しました。このレシピを考える中で、食物アレルギーの方が食べられない食材をただ除くのではなく、代替品で不足する栄養素を補うというアイデアに気づくことができました。例えばピザの具材である乳・乳製品のチーズの代替として小魚を入れることでカルシウムを補うなどです。このことで、レシピ考案の幅を広げる視点を得られたと感じています。今後も、食物アレルギーの方でも病気のことを気にせずに楽しめる料理を作りたいと思います。

新型コロナウイルスの影響でボランティアの機会も限られていますが、少ない機会を生かしていくことで、今後役に立つ新たな気づき・発見に出会う良い経験ができています。ぜひみなさんも積極的に課外活動に参加してみてください!

印象に残っていること

可部山まゆ織の伝統文化を伝える同好会において、ジュニア会員の山まゆ飼育活動をサポートしています。子どもたちやその親御さんとお話をして意見交換・交流するというのが主です。同好会やジュニア会員のみなさんが山まゆのことを「うちの子」と呼んだり、飼育エピソードを共有して「かわいい!」と言ったりして、ペットや子どものようにかわいがっていたのが印象的でした。あたたかい雰囲気の中で一緒に活動できることがやりがいになっています。

活動とおして気づいたこと・みなさんへのメッセージ

参加している親子にそれぞれの形が見られることに気づきました。親子が協力して活動しているのは共通していましたが、子どもが積極的に取り組んでいる親子、親御さんの方が率先して取り組んでいる親子などさまざまでした。また、相談会の途中でまゆの中からママユガが出てこうとしている場面に遭遇することがありました。このような体験はこの活動でしか得られないものだと思います。この活動を始めるとき、山まゆが虫だということで心配もありましたが、活動していく中でかわいく思えてきました。専門的な知識がなくても、子どもたちと一緒に学ぶことで一緒に楽しむことができます。この活動やボランティアに興味を持っていただくと幸いです。学内の「ぶらボラ」(ぶらっと立ち寄るボランティアコーナー)では自分に合ったボランティアを見つけることができますので、ぜひ一度行ってみてください。